

2021年度在學生 在學生アンケート調査 結果（公開用）

目白大学短期大学部

1. 目的

短期大学部学生の学修や学生生活面での満足度を明らかにし、今後の教育および学生生活サポートに活用する。

2. 対象

①目白大学短期大学部 2021年度2年次学生を対象とした。

（製菓学科・ビジネス社会学科・歯科衛生学科）

②目白大学短期大学部 2021年度3年次学生を対象とした。

（歯科衛生学科のみ）

3. 方法

2021年4月19日～23日にGoogleフォームのアンケート調査を実施した。

4. 回答者数と回答率

①2年次学生

| | 在學生数 | 有効回答数 | 回答率 |
|----------|------|-------|--------|
| 製菓学科 | 53 | 46 | 86.8% |
| ビジネス社会学科 | 92 | 69 | 75.0% |
| 歯科衛生学科 | 44 | 44 | 100.0% |
| 合計 | 189 | 159 | 84.1% |

②3年次学生

| | 在學生数 | 有効回答数 | 回答率 |
|--------|------|-------|-------|
| 歯科衛生学科 | 27 | 22 | 81.5% |

5. アンケート結果概要

①2年次学生

- ・「1年次の過ごし方について」は、「授業に集中して取り組めた」学生が約6割、「課題の提出を頑張った」学生が約9割を占めた。オンライン授業には、「自由な時間が増えた」との肯定的意見もある一方、「先生に質問しづらい」「孤独感を感じる」などの意見もみられた。アルバイトについては、前年度および一昨年度の結果

と比較したところ、コロナ禍の影響も考えられるが「頑張った」と答えた学生の割合が減少していた。また、6割以上の学生が卒業後の目標をもって短大生活を過ごしているようであった。

- ・「1年間で向上したと思う能力・スキルについて」は、「主体性」「積極性」「自律性」などが身についたと考える学生の割合が増加した一方、「豊かな教養」「専門分野の知識・技術」が身についたと考える学生の割合は減少していた。本学年は1年次から遠隔授業が主であったため、専門分野のイメージなどが掴みづらかったものと考えられる。
- ・「学生生活での不安について」では、「学習面」「就職面」での不安を感じている学生が前年度よりも増加しており、さらに「友人関係」「環境面」でも不安を感じている学生の割合が増加していた。より一層の支援が必要であると考えられる。
- ・「卒業後の将来像について」では、7割以上の学生が「就職」を考えていることがうかがえた。また、8割以上の学生が、結婚や出産を経験しても仕事を続けたいと考えているようである。

②3年次学生

- ・前年度秋学期より初めての臨床実習が開始されたが、コロナ禍の影響で時間の変更等が発生し、通常通りに行えたとは言えない状況であった。しかし、初めての臨床実習に対し緊張しながらも、集中して取り組むことができたようであった。
- ・臨床実習を通して、実際の医療現場での知識や社会人としてのマナー・常識が身についたと実感している学生が多いようであった。
- ・国家試験や就職活動については、不安を感じている学生が非常に多いことから、今後も引き続きより一層の支援が必要となると考えられる。